

KIPPでは、10数年間、対人関係精神分析の考え方を解説するセミナーを京都において開催してきました。おかげさまで、それに対する一定の評価や関心が定着するとともに、関西エリア以外からも対人関係論について学びたいという声が聞かれるようになりました。そこで有限会社ケーアイピーピーは、全国での開催を視野に入れ、まずは東京会場で基礎的な5回シリーズのセミナーを開催する企画を立てました。これまでの経験の蓄積を踏まえて、初学者にもわかりやすく解説できるよう、セミナーの構成を考えておりますので、たくさんの方に参加いただければ幸いです。



川畑 直人 Kawabata, Naoto

臨床心理士。教育学博士。WAWI精神分析家。同児童青年心理療法家。

所属:京都文教大学、一般社団法人京都精神分析心理療法研究所、(有)ケーアイピーピー。

専門:精神分析学、臨床心理学

著書:臨床心理学(培風館:共著)

訳書:ビューチューラー「精神分析臨床を生きる」(創元社:監訳)、パイン「欲動、自我、対象、自己」(創元社:監訳)

山本 雅美 Yamamoto, Masami

臨床心理士。WAWI精神分析家。同児童青年心理療法家。

所属:国際基督教大学高等臨床心理学研究所 特任講師

専門:精神分析学、臨床心理学

各回10:00～16:00

10:00～11:30 第1講義

12:30～14:00 第2講義

14:00～16:00 第3講義(事例中心)

第1回 精神分析と対人関係論
2015年11月29日(日)

古典的な精神分析の考え方に対して、対人関係論的には精神分析をどのようにみるのか、歴史的な流れを踏まえながら、その特徴を描き出し、対人関係精神分析の輪郭を抽出する。

第2回 サリヴァンの思想
2016年1月24日(日)

対人関係論という名称を創り出した米国の精神科医ハリー・スタック・サリヴァンの思想について、主に人格論と発達論に焦点を当てて解説する。

第3回 詳細な質問と技法論
2016年3月13日(日)

対人関係精神分析において「詳細な質問」は長い間技法論の中心にあった。この講座では、単なる情報収集に終わらぬ質問の臨床的意義を、好奇心を育てる能動的なプロセスとして解説する。

第4回 パラタクシス、転移、エナクトメント
2016年5月8日(日)

精神分析において転移分析は技法の中心に位置づけられる。対人関係精神分析においてもその点は変わらない。この講義では、パラタクシス、エナクトメント、そして転移・逆転移マトリックスといった観点から転移現象について再考する。

第5回 現代対人関係論
2016年9月19日(月・祝)

ミッチェルの登場により、対人関係論の思想はより広い精神分析の観点を取り入れながら関係論として発展している。その歴史的展開を解説するとともに、レヴェンソンなど現代対人関係論、子どもの心理療法、組織心理コンサルテーションなどを紹介する。

会場 日本経済大学 東京渋谷キャンパス

受講料 各回 一般 8,000円 全5回シリーズ 一般 35,000円
申込 学生 6,000円 申込 学生 25,000円

募集対象 臨床心理士、精神科医、その他の医療・教育・福祉等で心理臨床に関わっている方。または、それに関わる学生、大学院生。

申込締切 各回の2週間前まで。 ※シリーズ申込の受付は終了いたしました。

お申し込みはメールにて、下記事項をご記入の上お申し込みください。件名に、「KIPP対人関係精神分析基礎セミナー(東京)申込」とご記入ください。

- ◆お名前
- ◆所属
- ◆臨床心理士資格の有無・職種(学生の方は学年を記入)
- ◆ご住所
- ◆ご連絡先:電話番号/e-mail
- ◆申込回:受講希望の回(複数可)
- 申込先:kippmail@nifty.com

